

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		かるがも園				公表日	令和8年1月22日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・整備・体制	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	<input type="radio"/>		支援の内容に応じて必要な教材等を準備している。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		職員の配置数は適切である。		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		<input type="radio"/>	目標設定・振り返りは、全体で実施しておらず、担当者間で行っている。	今後の体制について検討していきたい。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		評価結果および保護者の意向は、すべての職員に周知した上で、業務改善に努めている。		
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		話し合いを通じて適宜業務改善を進めている。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		三田市によるモニタリングを実施し、指摘部分があれば速やかに改善している。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		必要な研修については、法人内で適宜実施している。		
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		お子さまの課題を正しく把握できるよう訓練士と連携しながら支援計画を作成している。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		必要に応じて訓練士や保育スタッフとも連携して支援内容を検討している。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	<input type="radio"/>		訪問先の意向をよく聞き取った上で支援計画を作成している。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		必要に応じてお子さまの支援計画を見直しながら支援を実施している。		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		お子さまの発達検査、保育、訓練の記録や、保護者からの聞き取り等により総合的にお子さまの状況を確認している。		
適切な支援の提供	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		ガイドラインに基づき、お子様に必要な支援を職員が協議の上で設定している。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		支援計画を職員間で共有し、計画に沿った支援を行っている。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		支援開始前に打ち合せを行い、当日の予定や支援内容を確認している。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後に職員間で振り返りや情報共有を行っている。	
	17 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		訪問先の意向に沿って支援を行っている。	
	18 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		支援についての記録を行い、検証・改善を行っている。	
	19 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		必要に応じて適宜見直しを行っている。	
保護者等への説明等	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		お子さまの状況を十分に理解した上で、関係者との連携を図っている。	
	21 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		日頃から様々な関係機関と情報共有し、連携に努めている。	
	22 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		学校と連携をとり、支援内容等の引継ぎを行っている。	
	23 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		福祉、教育、医療の専門機関と連携し、地域で開催される情報交換会にも参加している。外部研修も必要に応じて参加している。	
	24 (自立支援)協議会子こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		市内関係委員会の委員の委嘱をうけているほか、各会議にも参加している。	
	25 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		お子さまの状況について同じ認識をもち、共通の支援ができるよう努めている。	
	26 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		法人が実施している保護者研修会の案内を行っている。	
	27 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明をしている。	
	28 訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		訪問先施設に説明の上、訪問している。	
児童発達支援事業所の運営	29 保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		普段の聞き取りを含め、保護者の意向を確認しながら支援内容を決定している。	
	30 「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		保護者の同意を得た上で支援を実施している。	
	31 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者からの相談に対していつでも応じるようしている。望ましい対応について訓練士とも相談しながら助言している。	
児童発達支援事業所の運営	32 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	保育所等訪問支援事業としては父母の会の活動や保護者同士の交流は実施していないが、児童発達支援センターの中で、ご家族で参加できる園庭開放を実施している。	引き続き園庭開放などの活動に取り組んでいただきたい。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
訪問先施設への説明等	33 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		申し入れがあった際は、迅速な対応を心掛け、原因の究明と対応について職員間で協議し、保護者への説明を行っている。	
	34 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		法人より通信を発行するなど、必要に応じて情報を発信している。	
	35 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報については取扱いに注意し、正当な理由なく第三者に漏らすことのないよう必要な措置を講じている。	
	36 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		必要に応じて、視覚支援等によりお子さまが理解できる方法で意思疎通を図っている。	
非常時等の対応	37 訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		日頃より学校・園からの相談に応じれる体制を整え、訪問支援にかかわらず、見学や情報共有を行うなど連携に努めている。	
	38 保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		訪問先と情報を共有しながら支援内容と一緒に考えている。	
	39 保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		訪問後に保護者に報告を行っている。	
	40 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報については取扱いに注意し、正当な理由なく第三者に漏らすことのないよう必要な措置を講じている。	
	41 訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		訪問先の相談に真摯に応じ、訪問先の意向を尊重しながら関係を築けるように努めている。	
	42 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを整備し、閲覧できるよう事業所に備えている。職員の訓練を適宜実施している。	
	43 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		職員に必要な研修や訓練を行っている。	
	44 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		児童発達支援センターとして、朝礼時に職員間でヒヤリハットを共有している。	
	45 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		職員に必要な研修を行っている。	
	46 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		児童発達支援センターとして、身体拘束にかかる必要な措置を講じている。	